

No. 159



パオ★ だよい



平成20年 8月号

今年もやります!! ☆パオの夏休み☆



◀ 化石採集体験教室

7月27日(日)9:30～11:30

楽しく分かりやすい説明を聞きながら、パオで化石採集をしよう!

天体望遠鏡製作教室 ▶

8月2日(土)10:00～
受付は終了いたしました。
ありがとうございました。



他にもいろいろな工作ができます。
詳しくは裏面をご覧ください。

綾部市天文館の情報は、携帯電話(iE-D)からも見るができます。
<http://www.obs.ayabe.kyoto.jp/astro/im/index-i.html>



綾部市天文館
☆パオ☆

Ayabe Astronomical Observatry

〒623-0005 京都府綾部市里町久田21番地の8
TEL(0773)42-8080 FAX(0773)42-7877

<http://www.obs.ayabe.kyoto.jp/astro/>

8月の休館日：4・11・18・25日

(月曜日と祝日の翌日・年末年始が休館日です)

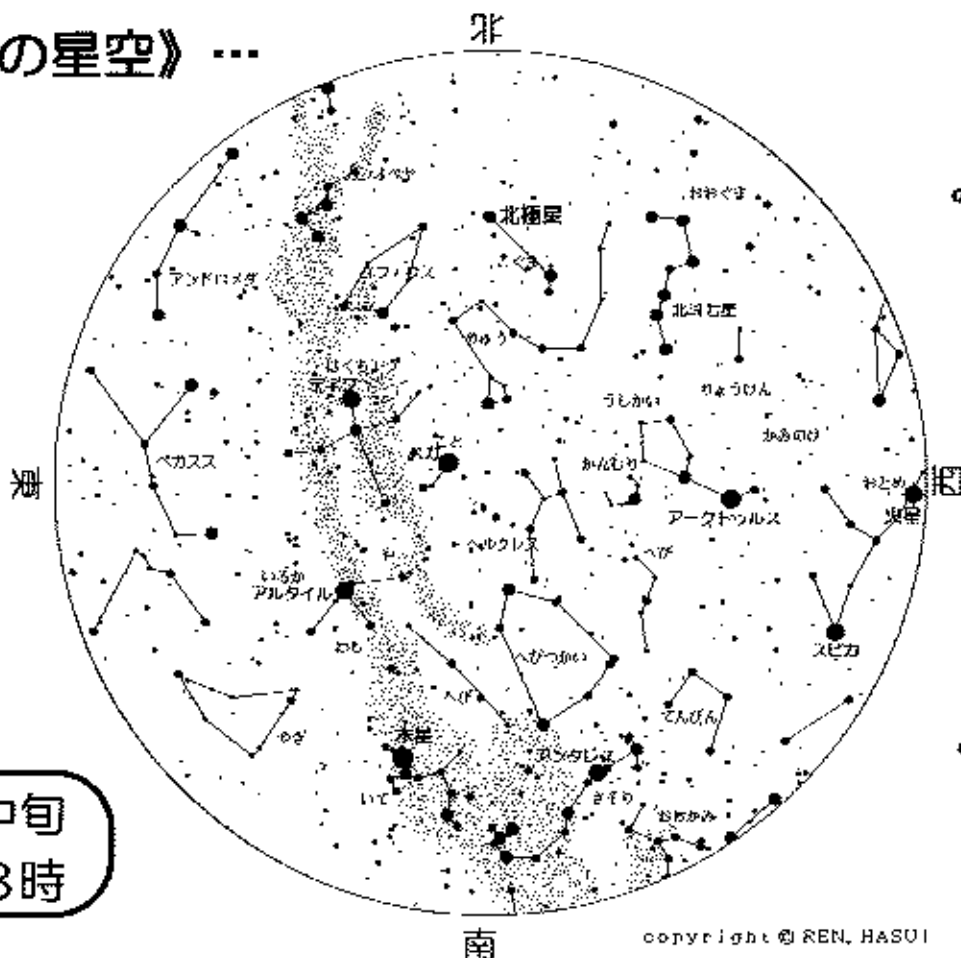
祝日の翌日が土・日曜日と重なった場合は開館します

開館時間 / AM9:00～PM4:30 (火～木)

AM9:00～PM9:30 (金～日)

入館料 / 高校生以上200円・小中学生100円

…《8月の星空》…



8月中旬
午後8時

copyright © REN, HASUI

【8月のこよみと天文現象】

【8月の日の出・日の入(綾部)】

日	日出	日入
3日	5:08	19:02
10日	5:13	18:55
17日	5:18	18:47
24日	5:24	18:38
31日	5:29	18:29

1日(金)	● 新月 皆既日食(シベリアから中国にかけて)
7日(木)	立秋 旧暦七夕
9日(土)	☾ 上弦の月
12日(火)	ペルセウス座流星群が極大
17日(日)	○ 満月 部分月食(月没帯食)
24日(日)	☾ 下弦の月
31日(日)	● 新月

【8月の見どころ】

◆深夜からが見ごろ◆

12日は、毎年恒例、ペルセウス座流星群の極大日ですが、今年は上弦過ぎの月があり条件はあまり良くありません。

ですが、月は13日午前1時ごろに沈みますので、その頃から明け方にかけては、ペルセウス座も昇っていて、いい条件で観察できるでしょう。

◆明け方に起こります◆

17日明け方に部分月食があります。
この月食は満月が欠けたまま沈む月没帯食です。徐々に空が白み始める午前4時35分に部分月食が始まり、5時20分には欠けた状態のまま沈みます。西の空が開けたところで、どれくらい見えるか挑戦してみましょう。

*天文館でも観察会を行います。(晴天時のみ)

宇宙の話

夏のスターウォッチング

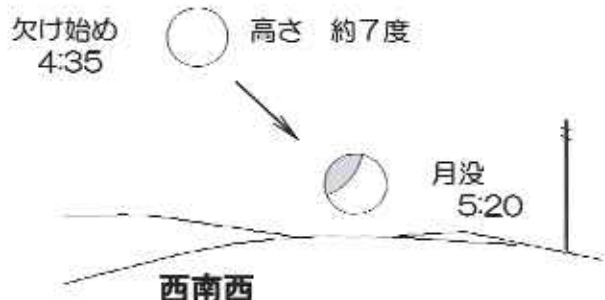
星図を見ながら、双眼鏡を使って見えた星にチェックを入れる観察会を行います。夏は、こと座のベガの近くの星を観察します。

期間は、七月二十五日から八月三日までの間で、天気等の様子を見て行います。



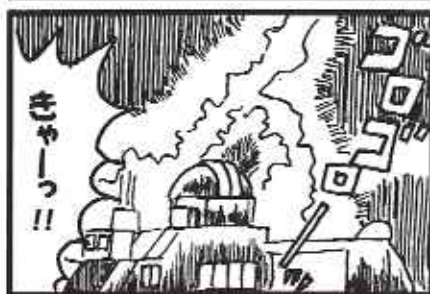
八月十七日(日) 早朝の部分月食

未明の西の空低くに見える満月が、夜が明けていく中、欠けながら沈んでいきます。下の図のように四時三十五分ごろに欠け始めますが、その時刻より少し早く欠け始めたように見えるでしょう。



かくしましゅう

おおつき かずや



金星、見つかるかな?

八月には、夕方の西空に「宵の明星・金星」が見え始めます。夕方に見えるのは約一年ぶりになります。夕方に見えなかった間は、早朝の東の空に「明けの明星」として見えていました。今年の八月頃から、来年の三月頃まで夕方の西空に見えます。見え始めの頃は、日没時の高度が低いので、建物や山が邪魔をして簡単には見つからないかもしれません。良く晴れた夕方の暗くなりかける頃、なるべく西の空が低いところまで見える場所を探してみましよう。金星はとても明るく見えます。UFJと間違える人もいるくらいです。



はてなの答え

先月の問答・写真の物は、綾部市天文館にある物の一部です。さて、これは何でしょうか?

先月の写真



答えは、ホワイエのガラスケースの中に入っている外輪船の一部です。昨年の夏休みの工作教室で作りました。すべて指導いただいた梅原隆さんの手作り教室を行いますので是非ご参加ください。

はてな? 何だろう?

左の写真は、綾部市天文館にある物の一部です。さて、それは何でしょうか?

答えは天文館で探してください。

★お帰りの時に受付で答えを言ってくれた方に記念品をプレゼント!



